

あま市民病院だより

コロナ禍でも検診を受けましょう ～子宮がん検診について～

女性特有のがん「子宮がん」は、女性のがん罹患率^{りかんりつ}5位を占め年々増加傾向にあります。子宮頸がんは20代後半から増え始め30、40代で増加します。そのため、20歳からの検診が推奨されています。しかし、初期段階では自覚症状が少ないため、診察の煩わしさや家庭、仕事の多忙さから後回しになりやすく先進国中で最も低い受診率に留まっています。子宮がんは、早期発見することにより負担の少ない治療で治すことが可能な病気です。検診は自分の健康に向き合う機会だと考え、症状がなくても定期的に受診することが大切です。

オリジナルソングCDと寄付金をいただきました

あま市文化協会加盟団体「歌謡教室なかよし会」様より、「命を守る募金」活動で集まった寄付金7万円と、CD5枚を寄付いただきました。CDには医療従事者に感謝を込めた歌「みんなの命を守る天使」(作詞:シャチ八郎^{はちろう} 作曲:富士ひろみ^{ふじ})が収録されています。日頃より、地域住民の皆様の温かい心遣いには大変感謝しております。今後も引き続き、皆様の安心と健康をお守りできるよう職員一同、尽力いたします。



◆◆◆あま市民病院Facebookのご紹介◆◆◆

あま市民病院の活動やお知らせなどをFacebookでも発信しています。



<https://www.facebook.com/amahosp/>

公益社団法人
MED 地域医療振興協会

〒490-1111 あま市甚目寺畦田1番地
問合時間:午前8時30分～午後5時
(土・日曜、祝日を除く)

☎ 444-0050 FAX 444-0064

<https://www.amahosp.jp/>

